



令和7年度 施政方針

令和7年3月市議会定例会で、新年度の市政運営の考えと重点施策を盛り込んだ施政方針を発表しました。その概要を紹介します。

一人ひとりが**主役**となり、

幸せと生きがいを感じられる

ウェルビーイングなまちづくり



鴻巣市長 並木正年

令和6年度を振り返って

昨年は、昭和29年の市制施行から70周年を迎えた節目の年でした。

「なないろの笑顔咲かせる鴻巣市」をキャッチコピーとして、市民の皆さんや100を超える70周年記念事業PRパートナー事業者との連携のもと、様々な記念事業や冠事業を実施したほか、10月1日の市民の日には「市制施行70周年記念式典」を挙行了しました。

これらの取組を通じて、これまで先人たちが築いてきた歴史や文化、まちづくりを振り返ることで、未来に向け、夢と希望に満ちたまちづくりを進め、次の世代へと継承していくことの大切さと責任の重さを改めて実感した一年でした。

また、未来を担う「のすつ子」たちが健やかで幸せに成長できる持続可能な地域社会を実現するため、5月5日のこどもの日に「こどもまんなか応援サポーター」を宣言しました。

本年3月には、本市におけることも・若者施策に関する計画として「鴻巣市こども計画」を策定したところです。引き続き、こどもまんなか社会の実現を目指していきます。

さらに、令和6年度は、全市的なSDGsの推進に力を注ぎました。地域でのSDGs達成に向け、現在、81の事業者や団体が「このとりSDGsパートナー」に登録し、本市と連携した取組を進めています。7月に開催したSDGs未来会議では、市内8中学校の生徒が、SDGsの視点から地域課題について考え、持

続可能なまちづくりに向けた提案を行いました。

これらの取組を通じて創出・拡大してきた市民や事業者、学校等とのパートナーシップを基盤として、本年1月25日には、こどもから大人まで楽しくSDGsを学べる「このとりSDGsフェスティバル」を開催し、5千人を超える方々に来場いただきました。

持続可能なまちづくりのために、市民や事業者の皆さんと連携して取り組んでいくことが重要です。SDGsをより身近なものとして感じられる環境づくりを進めることで、多くの市民や事業者の皆さんがSDGs達成に向けた行動をスタートしていただけたものと考えています。

3つの基本理念に基づく 令和7年度の市政運営

令和7年度の予算編成にあたっては、事業の重点化と優先順位の明確化、基金や国庫支出金および県支出金等の積極的な活用による財源確保や業務効率化を徹底するとともに「市長と語る地域懇談会」や「市長のまち探検」などを通じて把握した市民や事業者の皆さんのニーズにきめ細やかに対応することで、さらなる行政サービスの向上を目指します。

その上で、市政運営にあたっては、3つの基本理念のもと、第6次総合振興計画後期基本計画に掲げる6つの政策と全28の施策に係る全ての事務事業を着実に推進し、ウェルビーイングの向上を図っていきます。

3 市政運営の つの基本理念

幸せと生きがいを感じられる
ウェルビーイングなまちづくり

※ウェルビーイング…心身の健康、仕事や人との
つながりなど、あらゆる面での幸せのこと。



1 くらしやすさを 実感できる まちづくり

市民が安全で安心な生活を営むためには、激甚化・頻発化する自然災害や身近な犯罪等の生命・財産を脅かす危機に対応し、市民一人ひとりがいきいきと健やかで充実した生活を送ることができる環境とくらしを支える都市基盤が整備されていることが土台となります。

このため、「自助・共助・公助」の考えのもと、市民・自治会・市が連携して災害対応力の強化や、犯罪の未然防止に向けた取組を拡充するなど、市民の皆さんの安全を守り、安心なくらしを支える取組に注力します。

また、市民の皆さんそれぞれのライフステージに応じた健康づくりをはじめ、自分らしく生活できる環境づくりを支援するほか、地域の憩いの場の創出や誰もが移動しやすい交通環境の整備を通じて、都市機能の向上を図ることにより、『くらしやすさを
実感できるまちづくり』を進めます。



2 こども・若者、 子育てにやさしい まちづくり

国は「全てのこども・若者の幸せと未来を守る」との考えのもと、こどもまんなかのバージョンアップを掲げ、「こども未来戦略」の加速化プランを本格的に実施していく考えです。

鴻巣市でも、こどもまんなか社会の実現を目指し、その根幹となるこどもの権利と保障について定める「鴻巣市こどもの権利条例」を4月1日に施行しました。11月20日を「このす☆こどもの権利の日」と制定し、こどもの権利について、こども・保護者・地域住民等の理解を深めていきます。

また、こどもを安心して産み育て、次代を担うこどもたちが健やかに成長していくことができる環境づくりに取り組みます。

さらに、こどもたちの「生きる力」を育むための学びの支援と文化芸術の振興を併せて進めることにより、『こども・若者、子育てにやさしいまちづくり』を進めます。



3 SDGsの推進に よる持続可能な まちづくり

2030年のあるべき姿を「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」とし、「経済」「社会」「環境」の3つの分野からの事業展開によるSDGsの達成に取り組んでいます。

その成果を基盤として、さらなるステップアップを図るため、令和6年度に創出・拡大した連携の輪をより確かなものにするともに、コウノトリをシンボルとした鴻巣市の取組を市内外に広く発信していきます。

また、新たな事業活動に挑戦する事業者への支援や農業をはじめとする地域産業拠点施設の整備などを通じて産業振興のほか、市民や事業者の皆さんと連携してゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進します。

鴻巣市におけるSDGsの達成に向けた取組を、さらに拡大・深化させていくことにより、『SDGsの推進による
持続可能なまちづくり』を進めます。



ウェルビーイングな
まちづくりを目指して

令和7年度は、平成17年10月の鴻巣市、吹上町、川里町の1市2町の合併から20周年となる節目の年です。本市の人口は微減の状況にありますが、社会動態では平成27年から令和6年まで10年連続で転入超過が続いており、都市基盤の整備や交通の利便性向上、こども・子育て支援、教育環境の整備、福祉施策の充実など、新市建設計画を基礎とした「第6次鴻巣市総合振興計画」に基づく取組の成果が、着実に花開いていると考えています。

この流れをさらに加速させるべく、強い決意と覚悟を持って、新年度の市政運営を推進します。

本市のさらなる発展と飛躍に向け「市民と歩む新しい鴻巣を基本姿勢に、各事業の着実な進捗を図り、誰一人取り残さない持続可能な市政運営を進めること、市民の皆さん一人ひとりが主役となり、しあわせと生きがいを感じられるウェルビーイングなまちづくりに全力で取り組みます。

市民の皆様におかれましては、令和7年度においても、引き続き、格別のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

災害支援体制整備事業

予算額 2,069万4千円



災害時における食料や発電機、段ボールベッドなどの備蓄物資を整備し、大規模災害に備えることで市民の皆さんが安全安心に暮らせるまちづくりを進めます。

1

くらしやすさを
実感できる
まちづくり



令和7年度 施政方針

市政運営の3つの基本理念に基づく重点事業について、その一部を抜粋して紹介します。

令和7年度 主な事業を紹介

小・中学校施設維持管理事業

一部新規・拡充

予算額 3億1,089万5千円



近年の猛暑に対応し、より良い教育環境の整備と避難所環境の充実のため、小・中学校体育館への空調設備導入に向けた調査を実施します。

公共交通維持事業

一部新規・拡充

予算額 1億7,159万1千円



コミュニティバス「フラワー号」のEV車両への更新(1台)や地域公共交通計画の策定などを通じて、移動手段の確保および充実を図るとともに、地域公共交通の活性化に取り組みます。

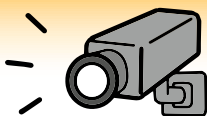
地域防犯体制支援事業

一部新規・拡充

PICK UP

安心して安全に暮らせるまちづくりを推進するため、防犯講習会の開催や自主防犯パトロールグループへの活動支援、住宅等の防犯対策に対する補助を実施するほか、鴻巣駅周辺に、範囲を拡大して防犯カメラを2台設置し、犯罪抑止の取組の強化を図ります。

また、自治会・町内会による地域防犯カメラ設置に対する補助金を創設するほか、防犯カメラ付き自動販売機の導入を進め、地域の防犯環境の整備を図ります。



予算額 530万1千円



▲中宿自治会自主防犯パトロール隊の皆さん

ウェルビーイングな
まちづくりに
取り組みます!



市HPで主要な施策・事業の説明資料を公開しています。



こどもまんなか推進事業

一部新規・拡充

PICK UP

予算額 105万4千円

こどもたちが健やかに成長し、自己が尊重される「こどもまんなか」社会の実現を目指し、他の子育て・教育の取組とも連携してこどもまんなか施策を推進します。

児童センターや保育施設、放課後児童クラブを利用する児童等を対象にアンケートを実施し、こどもや子育て当事者からの意見を聴取するとともに、こどもたちから継続的に意見聴取を行うための投稿フォームの整備を行います。

また、夏休み中に、こどもたちの移動支援、猛暑下の熱中症予防など、こどもの安全・安心を守るため、小・中学生を対象としてコミュニティバスの運賃無料化を実施します。

こども
まんなか



家具転倒防止器具等 設置促進事業

一部新規・拡充

予算額 101万1千円



感震ブレーカーや家具転倒防止器具に加え、住宅用火災警報器の購入・設置に対して補助金を交付することで、地震被害の軽減を図ります。(関連P13)

適応指導教室活用事業

一部新規・拡充

予算額 2,180万5千円



※Let's教室の様子

教育支援センター内に設置の「適応指導教室(Let's教室)」の開室時間を延長するほか、「校内教育支援センター(With)」を小学校1校・中学校2校に新設します。

教育支援センター

管理運営事業 一部新規・拡充

予算額 1,865万5千円



※移転先の旧小谷小学校

利用者の利便性の向上とより良い教育環境の整備に向けて、閉校となった小谷小学校内に教育支援センターを移転します。

がん対策事業

一部新規・拡充

予算額 9,012万円



各種がん検診で早期発見・発症および重症化予防を図るとともに、がん患者の社会生活・療養を支援するため、アピアランスケア用品購入費用および若年がん患者の在宅療養支援の助成を新たに開始します。(関連P19)

こども・若者、
子育てにやさしい
まちづくり

2

(仮称) 川里義務教育 学校整備事業

新規

予算額 1,069万8千円



教育先進都市を目指す鴻巣市の新たな拠点となる川里地域の義務教育学校設置に向け、整備予定地の測量業務を実施します。

こどもの居場所支援事業

一部新規・拡充

予算額 638万円



こどもたちが安心して過ごせるよう、こども食堂や学習支援教室等と民間企業や支援団体等を結ぶネットワークの形成や、鴻巣女子高校やこども食堂運営団体と連携して出張こども食堂を実施します。

道の駅整備事業

一部新規・拡充

予算額 2億8,385万8千円



※道の駅完成イメージ図

地域産業の振興と地方創生を実現するための拠点として整備を進める道の駅について、土木工事およびアクセス道路の整備を実施します。
〈関連P10〉

商工会補助事業

一部新規・拡充

予算額 4,186万5千円



地域経済の活性化や雇用の創出、産業の振興を図るため、経営力の向上のため積極的に経営革新に取り組む事業者に対する補助金を創設するほか、合併20周年を記念し、このす花火大会への支援を拡充します。

3

SDGsの推進に
よる持続可能な
まちづくり

SDGs 推進事業

一部新規・拡充

PICK UP

予算額 656万3千円

鴻巣市SDGs未来都市計画に基づき、市民・事業者・行政等が連携し、SDGs視点による地域課題の解決を図る取組を実施します。

スマートフォンアプリ「まちのコイン(コイン名：ブーケ)」について、市民や市内事業者への認知度の向上と利用の拡大を進めることで、SDGsの達成に向けた活動を促進させるとともに、関係人口の創出、地域経済の活性化につなげていきます。

また、2025大阪・関西万博会場での内閣府主催イベント「地方創生SDGsフェス」(令和7年5月28日~6月1日)に出展し、鴻巣市の取組を広く国内外に発信します。



まちのコイン「ブーケ」は、鴻巣のお店の利用や鴻巣に良いことをするともらえて、ちょっと嬉しい体験に使える地域ポイントです。



▲ダウンロード
はこちら

合併20周年記念事業

Anniversary

令和7年度は、平成17年10月の鴻巣市、吹上町、川里町の1市2町の合併から20周年を迎えます。合併以降、新市建設計画に位置づけた数々の重点事業を積極的に展開したことにより、鴻巣市のまちづくりは大きく進展しています。

この節目の年を市民の皆さんとお祝いするとともに、シティプロモーションの効果的な推進による市民のさらなる一体感の醸成や交流の促進を図り、『ふるさと こうのす』への誇りと愛着を育むため、様々な記念事業を実施します。

取組の1つとして、鴻巣市のまちづくりのシンボルのコウノトリを「市の鳥」に指定する準備をします。



エコな住環境づくり事業

一部新規・拡充

予算額 710万1千円



環境負荷の少ない住環境づくりを支援するため、住宅用省エネルギー設備の設置や省エネ性能の高い家電製品への買換えに対して補助金を交付します。〈関連P10〉

令和7年度 鴻巣市の予算

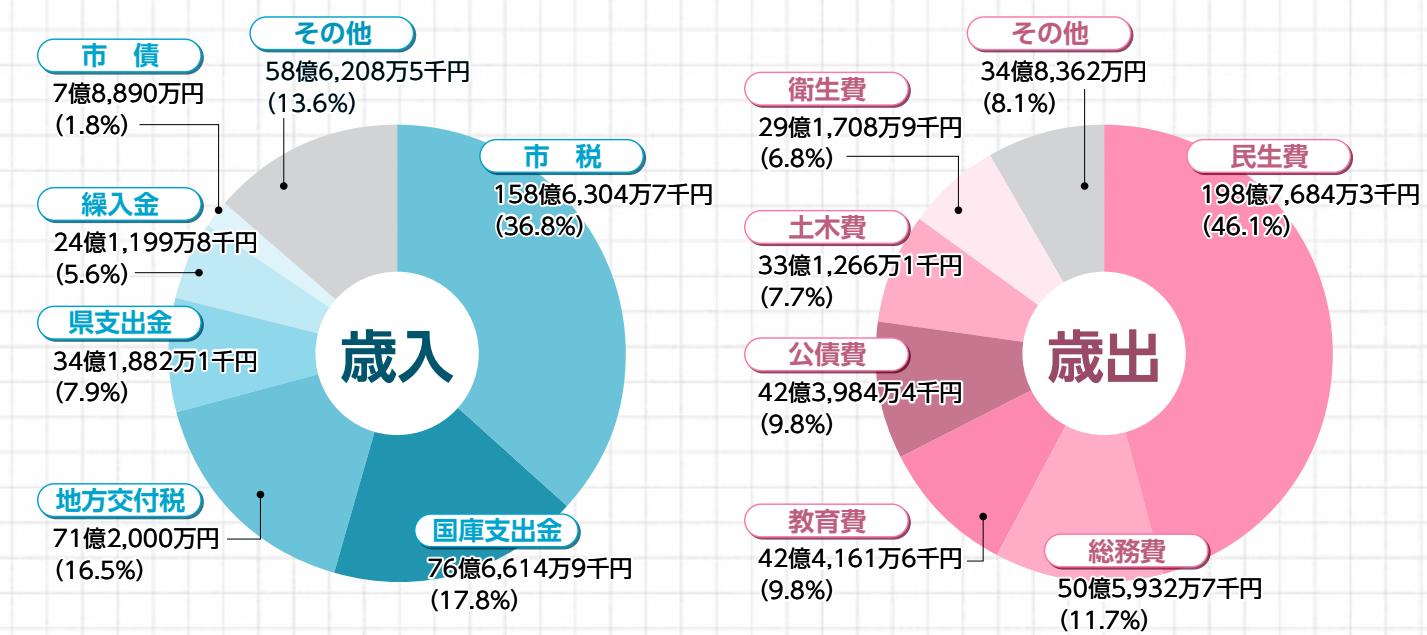
令和7年度当初予算の詳細は、
市HPをご覧ください▶



歳出では、高齢化の進行などによる社会保障関係費の増加、賃金や原材料価格の上昇による物価高騰が続く中、持続可能な行財政運営に取り組むことを基本とし、前例主義からの脱却、緊急度・優先度に基づく施策・事業の選択、経費の節減などの徹底に努めた予算編成としました。

一方、歳入では、国の地方財政対策を踏まえ、市税や各種交付金の予算に反映したほか、国庫支出金および県支出金を最大限に活用した予算としています。

問合せ 財政課(内線2233)



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合があります

会計別予算額		△は減少
会計名	本年度予算額	前年度比(%)
一般会計	431億3,100万円	6.3
特別会計	246億3,800万円	△ 2.9
国民健康保険事業	117億3,500万円	△ 8.1
介護保険	101億1,500万円	3.7
北新宿第二土地区画整理事業	6億1,100万円	9.1
広田中央特定土地区画整理事業	7,600万円	△ 59.4
後期高齢者医療	21億100万円	0.1
公営企業会計	80億5,875万8千円	△ 2.7
水道事業会計	37億1,629万9千円	△ 0.6
公共下水道事業会計	41億3,086万3千円	△ 4.4
農業集落排水事業会計	2億1,159万6千円	△ 5.5
総計	758億2,775万8千円	2.2

過去最大規模

令和7年度の一般会計予算総額

431億3,100万円
(前年度比6.3%増)

統一的な基準による財務書類の公表

令和5年度決算における財務書類を
公表しました。詳細は市HPをご覧ください。

